

国際ミニシンポジウム「Challenges of Rice Research in Kenya: Towards Doubling the Rice Production by 2018」開催

ICCAEとジョモケニヤツ農工大学は、2010年11月19日、「Challenges of Rice Research in Kenya: Towards Doubling the Rice Production by 2018」と題する国際ミニシンポジウムをケニアにあるアフリカ人造り拠点(AICAD)で開催しました。東アフリカにおける稲作振興に向けた緊急に解決すべき基盤的課題の特定とその解決の方向性の提示を目的とする国際共同研究「東アフリカ稲作振興のための課題解決型研究」に参加している日本とケニアの研究者が、これまでの研究成果を報告しました。稲作可能地域の特特定とコメ生産ポテンシャルの評価、冷害、早ばつ、いもち病等に対するイネ品種の抵抗性の評価、育種素材の整備と育種戦略の構築、ネリカ米普及の社会経済条件の解明等に関する発表が行われ、ケニアの稲作振興に関心を持つ、FAO、農業省、ケニア農業研究所、国立灌漑公社、JICA、JSPS等からの多数の参加者によって活発な意見交換が行われました。ケニアに適したイネ品種の開発や陸稲栽培の普及に向けて、関係機関間の連携を強化するとともに、日本とケニアによる共同研究を推進することが確認されました。(横原大悟)



講演の様子

JICA課題別研修(長期)「生命農学国際コース」への入学生の紹介

名古屋大学大学院生命農学研究科が2009年度より実施しているJICA課題別研修(長期)は、自国の農業／農村開発に資する政策立案・実施・マネージメントに関わる人材育成を目指して、開発途上国の大学・研究機関・省庁職員を修士課程又は博士課程に受け入れています。最終年度にあたる2011年度は、イラク国チャムチャマル地区の農業研究局よりAhmet Sami Shaker氏が来日し、動物機能制御学研究分野にて勉学に励んでいます。(伊藤香純)

農学国際人材データベース廃止に関するお知らせ

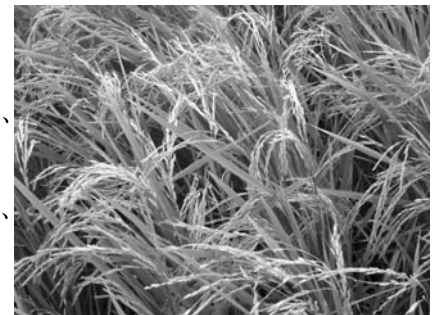
ICCAEでは、1999年度より、農学分野の協力人材データベースを作成・管理してきましたが、農学知的支援ネットワーク(J-INSAS)(<http://jisnas.com/index.html>)の設立を受け、同データベースの任務は終了したと判断し、本年5月末をもって廃止することと致しました。これまでの皆様のご理解とご協力に改めて感謝申し上げます。登録されている皆様の個人情報につきましては、ICCAEの個人情報保護内規に則って適切に処置させていただきます。(伊藤圭介)

外部資金によるプロジェクト推進(2011年度採択案件)

日本学術振興会「二国間交流事業(ケニアとの共同研究)」

ケニア・ムエア灌漑地区におけるイネいもち病の多発生に関する学際的研究(2011～2012年度)

ケニア最大の灌漑水田地区ムエアでは、2007年以降、同地区で優先的に栽培されている水稲品種Basmati370にいもち病が多発し、コメ生産が半減するなど大きな問題となっています。いもち病の被害を軽減し、他の地域での発生を防ぐためには、同地区における発生原因を究明し、適切な対処方策を開発することが重要です。本研究では、名古屋大学、国際農林水産業研究センター(JIRCAS)、ジョモケニヤツ農工大学の共同研究により、ムエアにおける被害の実態と発生原因、ケニアにおける優先いもち病菌レースの分布、ケニアの主要イネ品種のいもち病真性抵抗性を明らかにするため、現地におけるフィールド調査、イネ栽培実験、いもち病菌の接種試験等を行います。これらの調査および実験から得られた成果に基づいて、いもち病対策の方向性を提示する計画です。(横原大悟)



いもち病が発生した水田

JICA草の根技術協力事業

カンボジア国 伝統産業の復興による農産物加工 技術振興プロジェクト(2010年12月～2013年12月)

ICCAEでは、科学研究費補助金により、カンボジアにおいて消滅の危機に瀕している伝統的な農産物加工品「米蒸留酒」の品質向上・商品化・高付加価値販売による酒造農家の赤字経営改善という実践的研究(2008年～2010年)に取り組んできました。また、文部科学省「国際協力イニシアティブ」教育協力拠点形成事業を通じて、上記の実践をカンボジア王立農業大学(RUA)とともに実施することで、同大学に“現場での実践を通じた自国農業の問題解決に資する実践的研究・教育体制”を導入し、人材育成を行ってきました。これら2つの事業成果を活用し、人材育成を行ったRUAをカウンターパートとして、見いだされた高品質の米蒸留酒を製造する技法を他の酒造農家に普及することで、カンボジア国タケオ州の対象地域における生計向上と伝統産業の活性化による地域開発や産業の活性化を目指しています。(伊藤香純)